

AI と報道の共生を巡る攻防：Perplexity 訴訟と Comet Plus の戦略的分析

Gemini Deep Research

エグゼクティブサマリー

本報告書は、米国の AI 検索サービス Perplexity（パープレキシティ）と日本の大手新聞社との間で勃発した一連の法的紛争、およびこれに対応して Perplexity が発表した新たな収益分配サービス「Comet Plus」について、その背景、法的・経済的論点、そして将来的な影響を包括的に分析する。この個別の事案は、AI 時代におけるコンテンツの価値、ジャーナリズムの持続可能性、そして著作権を巡るより広範なグローバルな構造的転換点を象徴している。

本分析の結論として、Perplexity の「Comet Plus」は、単なる新しいビジネスモデルの発表ではなく、相次ぐ法的圧力によって引き起こされた防衛的かつ戦略的な対応である。その成否は、今後のデジタルコンテンツ市場における AI と報道機関の共生モデルを決定づける重要な実験となる。AI 企業は、コンテンツの価値を認め、公正な対価を支払う透明性の高いエコシステムの構築を迫られている一方、報道機関は法廷闘争だけでなく、AI 企業との新たなパートナーシップモデルを戦略的に模索する必要に迫られている。この移行期において、各ステークホルダーは、従来のビジネスモデルや法的枠組みを再評価し、技術革新と知的財産権保護のバランスを見出すことが急務である。

第 1 章: 日本における法的紛争の勃発：Perplexity 対大手新聞社

1.1. 訴訟の概要：読売新聞、日経新聞、朝日新聞による提訴と損害賠償額

2025 年 8 月、米国の AI 検索サービス Perplexity を巡り、日本の大手報道機関が相次いで法的手段に踏み切った。この動きは、日本のメディア業界が生成 AI 企業に対して結束して対応していることを示す、極めて異例な事態として注目されている。

まず、日本の大手報道機関として初めて提訴したのは読売新聞社である。同社は 2025 年 8 月 7 日、Perplexity が同社の記事や写真を無断で利用しているとして、サービスの利用差し止めと約 21 億 6,800 万円の損害賠償を求め、東京地方裁判所に訴訟を提起した¹。読売新聞社の主張によれば、2023 年 9 月から 2024 年 6 月にかけて、同社のオンラインサービス（YOL）から 11 万 9,467 件もの記事が無断で取得・利用されていたという²。

この提訴から約 3 週間後、2025 年 8 月 26 日には日本経済新聞社と朝日新聞社が共同で Perplexity を東京地方裁判所に提訴した³。両社は、Perplexity が記事の無断複製・保存を行い、さらに虚偽情報を配信していることが問題だとして、合計 44 億円（各 22 億円）の損害賠償と記事利用の差し止めを請求した³。この共同提訴は、日本の主要メディアがこの問題に対する深刻な危機感を共有していることを明確に示している⁶。

1.2. 訴訟の法的根拠：著作権侵害、不正競争防止法、そして信用毀損

これらの訴訟は、単に記事が利用されたことだけでなく、より複雑な複数の法的論点を提起している。

第一に、最も主要な争点となるのが**著作権侵害**である。原告である各新聞社は、Perplexity が報道コンテンツを無断で取得し、複製（サーバーへの保存）や公衆送信（AI 検索サービスでの表示）を行っていることが、著作権法に定められた複製権および公衆送信権を侵害していると主張している²。特に、朝日新聞と日経新聞の訴状によれば、Perplexity はウェブサイトのクローラーアクセスを制御するための技術的措置である「robots.txt」を無視して記事をスクレイピング（自動収集）していたとされており、これは意図的な行為と見なされ、悪質性が問われる可能性がある³。また、日経新聞の有料コンテンツ（ペイウォール内）が AI の回答に利用されていたことも問題視されている³。

第二に、日本の訴訟で特に強調されているのが**不正競争行為**である。原告は、Perplexity が生成した回答に記事の内容と異なる****虚偽情報（ハルシネーション）****が含まれており、それが自社の社名とともに表示されることで、情報の正確さを生命線とする新聞社の信用を著しく毀損したと主張している³。この主張は、著作権法を超えた、報道機関のブランドと信頼性という核心的な価値の保護を目的としている¹⁵。

1.3. Perplexity の法的リスクと対抗策：Comet Plus のタイミングと戦略的意図

Perplexity が新たな収益分配サービス「Comet Plus」を発表したタイミングは、日本の主要な新聞社の訴訟が相次いだ直後であり、これは単なる偶然ではない。日本のメディアが提訴する数週間前には、ウォール・ストリート・ジャーナルを発行する News Corp が米国で起こした著作権訴訟において、Perplexity が提出した訴訟却下の申し立てが全面的に棄却されており、法的脅威が現実的な財務リスクとして顕在化していた¹⁰。

この一連の流れは、Perplexity の行動が法的な圧力に対する直接的かつ防衛的な戦略的対応であったことを示唆している。読売新聞の提訴（8 月 7 日）、日経・朝日新聞の共同提訴（8 月 26 日）が報じられた直後、Perplexity は読売新聞の取材に対して、報道機関に収益の一部を還元する新たな取り組みを数ヶ月以内に開始すると明らかにした [User Query]。このタイミングで新サービスを発表したことは、訴訟の激化を和らげ、潜在的なパートナーを確保することで、法的およびビジネス的リスクを同時に軽減しようとする、Perplexity の危機管理戦略の一環と見なせる。この動きは、AI 企業が「フェアユース」（公正利用）の法的主張を維持しつつも、事実上、コンテンツに市場価値があることを認め、裁判外での和解とパートナーシップ構築を優先していることの表れである¹⁶。

第 2 章: Comet Plus のビジネスモデル分析：持続可能性と市場へのインパクト

2.1. Comet Plus の仕組み：80% 収益分配モデルの詳細と、支払い対象となる 3 つのトラフィック種別

Perplexity が表明した新たなニュース配信サービス「Comet Plus」は、AI と報道機関の共生モデルを巡る重要な実験である。同社は、数ヶ月以内に月額 5 ドル（約 740 円）でこのサービスを開始し、その収益の 80% を参加報道機関に分配するとしている¹⁹。Perplexity は残りの 20% を「計算コスト」として保持するという¹⁹。この収益分配は、当初は 4,250 万ドル（約 63 億円）の資金プールから支払われ、加入者の増加に伴い毎月拡大していく予定だ¹⁹。

このモデルの画期的な点は、収益分配の対象となるコンテンツ利用を 3 つのカテゴリーに明確に分類していることである¹⁸。

1. **直接訪問 (Direct traffic)** : Perplexity の AI ブラウザ「Comet」を通じて、ユーザーが直接出版社サイトを訪問した場合。
2. **引用 (Citations)** : AI が生成した回答に、出版社コンテンツが引用元として表示された場合。
3. **エージェントによる利用 (Agent - driven use)** : AI アシスタントがユーザーに代わって、タスク完了のために出版社コンテンツを利用した場合。

特に 3 番目の「エージェントによる利用」は、従来の検索エンジンではトラフィックとして認識されず、広告収入にもつながらなかった新しいタイプのエンゲージメントである²⁰。

Perplexity はこのモデルを通じて、AI 時代の新たなコンテンツ利用形態に合わせた公正な対価を支払うことで、メディアからの「タダ乗り」批判に対処しようとしている²²。

2.2. 「タダ乗り」批判への回答：収益分配は公平な対価か、一時的な「パニック価格」か

Perplexity が提示する 80% という収益分配率は、他のテック企業が提供するモデルと比較して非常に高い水準にある。OpenAI は News Corp との間で、5 年間で最大 2 億 5,000 万ドル（約 375 億円）とされるライセンス契約を結んでいるが、これは固定的なライセンス料である¹⁶。一方、Perplexity のパーセンテージベースのモデルは、その高い比率から、法的紛争を回避し、競争優位を確立するための「パニック価格」であるとの見方がある¹⁶。

このモデルの経済的持続可能性には疑問が呈されている。AI 検索には依然として高額なインフラコストがかかり、例えば GPT-3.5 レベルの推論コストは大きく低下したものの、依然として大規模なインフラを必要とする¹⁶。また、消費者向け AI 市場において、有料サービスに移行するユーザーは全体のわずか 3% と推定されており、月額 5 ドルのサービスでいかに多くのユーザーを獲得できるかという課題がある¹⁶。

しかし、この高い分配率は、AI 企業がコンテンツに経済的価値を認めざるを得なくなった市場の転換点を示唆している。Perplexity がこのモデルを通じて目指しているのは、単なる収益確保ではなく、コンテンツ提供者との関係を根本的に再構築し、AI とジャーナリズムの持続可能なエコシステムを構築することである¹⁸。その成功は、将来の AI とメディアの共生モデルを決定づけるだろう。

2.3. 報道機関の視点：Comet Plus への参加がもたらす収益機会とリスク

Perplexity の Comet Plus は、報道機関にとって新たな機会とリスクの両方をもたらす。

機会としては、第一に、AI エージェントによる利用など、従来の広告モデルでは収益化できなかったコンテンツ利用からの新たな収益源が生まれる点がある¹⁸。第二に、この収益分配モデルは、Apple News などの従来のプラットフォームに比べて、収益源の透明性が高いとされている²²。第三に、AI 回答に引用元のリンクが含まれることで、元の記事サイトへの直接的なトラフィックが増加し、新たな読者獲得につながる可能性がある²³。

一方、リスクも無視できない。最も深刻なのが「ゼロクリック問題」の加速である。AI が記事の要約や回答を直接提供することで、ユーザーは元の記事を訪問する必要がなくなり、報道機関の広告収入やサブスクリプション収入が減少する可能性がある⁸。また、AI が生成する誤情報（ハルシネーション）が、出典として自社名とともに表示されることで、報道機関のブランドや信頼性が損なわれるリスクも存在する³。さらに、多くの新聞社が有料コンテンツに月額 20 ドルから 30 ドルを課している中で、月額 5 ドルのサービスで得られる報酬が、適切な対価と言えるのかという疑問も残る²⁰。

第 3 章: AI とメディアの著作権を巡るグローバルな文脈

3.1. 著作権の法的解釈：日本の著作権法第 30 条の 4 と第 47 条の 5

日本の著作権法は、AI によるコンテンツ利用の合法性を判断する上で複雑な解釈を必要とする。AI 企業は、AI 学習のためのコンテンツ利用を著作権法第 30 条の 4 に依拠して正当化する可能性がある。この条文は、「享受を目的としない利用」について、原則として権利者の許諾なく著作物を利用できると定めている²。AI 学習は、著作物を直接的に鑑賞・視聴する「享受」とは異なり、情報解析を目的とするため、この規定の対象となり得ると解釈される。

しかし、今回の Perplexity の事例では、AI が学習した結果として生成した回答をユーザーに提供するサービスが問題となっている。この行為は、著作権法第 47 条の 5 が定める「軽微利用」の範囲を超えるかどうか争点となる²。日本新聞協会は、検索連動型 AI サービスが記事を要約し、ユーザーの情報ニーズを充足させてしまうことは、単なる「所在検索サービス」や

「軽微利用」の範囲を超えており、元の著作物の市場を不当に害すると強く主張している²。この点において、AIは学習という非享受目的と、ユーザーに要約を提供し情報ニーズを満たすという享受目的を併有しており、この法的なグレーゾーンが裁判の行方を左右する核心的な論点となる。

3.2. 欧米の類似事例：NYT 対 OpenAI 訴訟と News Corp 対 Perplexity 訴訟

日本国内の訴訟は、AI とメディアの著作権を巡る世界的な潮流の一環である。

最も注目されているのが、ニューヨーク・タイムズ (NYT) 対 OpenAI および Microsoft の訴訟である。NYT は、数百万本の記事がライセンス契約なく AI の学習に無断利用されたとして、数十億ドル規模の損害賠償を請求している³²。OpenAI は、コンテンツ利用は米国著作権法の「フェアユース」（公正利用）に該当すると主張しつつも、和解に向けた交渉も進めている³⁵。

また、日本の訴訟と論点が酷似しているのが、News Corp（ダウ・ジョーンズ、ウォール・ストリート・ジャーナル発行元）対 Perplexity の訴訟である。原告は、Perplexity がコンテンツを不正にコピーし、それを商業的に利用していると主張している¹⁵。さらに、AI が生成した虚偽情報（ハルシネーション）が同社の記事として誤って引用されたことで、ブランドの信頼性が損なわれたと主張しており、これは不正競争防止法に基づく日本の訴訟と同様の観点である¹⁰。

これらの訴訟に加え、BBC、フォーブス、ワイアードなど、欧米の多くの主要メディアが Perplexity に法的措置を検討・実行している⁶。

3.3. 国際的な法整備と政府の役割：EU の著作権指令、オーストラリアのメディア交渉法

AI とメディアの対立は、各国政府による法制度の整備を促している。

EU では、2019 年にデジタル単一市場における著作権指令（DSM Directive）が成立した。この指令は、オンラインサービスプロバイダーがニュース記事を使用する際、記事の発行元に報酬を受け取る権利（隣接権）を付与した³⁸。これにより、Google は報道機関との間で

「Google News Showcase」プログラムを通じたライセンス契約を締結するに至った⁴⁰。

オーストラリアでは、2021 年にメディア交渉法（**News Media Bargaining Code**）が成立し、Google や Facebook（Meta）に、ニュースコンテンツの利用料についてメディアと交渉するよう義務付けた⁴²。当初、Facebook はこれに反発して国内でのニュース提供を停止したが、最終的には政府の仲介を経て修正案に合意し、各社と契約を結ぶことで和解に至った⁴²。

これらの事例は、AI 企業がコンテンツ利用の対価を支払うことを、法的な枠組みを通じて強制する動きが世界的に進んでいることを示している。

3.4. ニュースメディアの戦略的選択：法廷闘争と AI 企業との提携

AI 企業に対する報道機関の対応は、大きく二つの戦略に分かれている。

第一の選択肢は、**法廷闘争**である。ニューヨーク・タイムズや日本の大手新聞社は、AI 企業のコンテンツ利用を「タダ乗り」とみなし、法的な手段を通じて著作権の保護と公正な対価を求める道を選んでいる²。

第二の選択肢は、**提携**である。OpenAI は、訴訟を抱えつつも、News Corp、Axel Springer、Associated Press、Financial Times など、多くの主要メディアとコンテンツライセンス契約を締結している²⁵。これらの提携は、AI 企業が信頼性の高い学習データと情報源を獲得し、メディアが新たな収益源とトラフィック、そして AI 技術へのアクセスを得るという「win-win」の関係を構築することを目指している。

紛争当事者	提訴時期	主要な主張	損害賠償額 (要求)	法的根拠
読売新聞社 vs. Perplexity	2025 年 8 月 7 日	記事・写真の 無断利用、著 作権侵害	約 21 億 6,800 万円	著作権法（複 製権、公衆送 信権）
日経・朝日新 聞社 vs. Perplexity	2025 年 8 月 26 日	記事の無断利 用、虚偽情報 表示による信 用毀損	合計 44 億円 (各 22 億円)	著作権法、不 正競争防止法

News Corp vs. Perplexity	2024 年 10 月 21 日	コンテンツの 不正コピー、 フェアユース 否定、虚偽情 報によるブラ ンド毀損	非公開	米国著作権 法、商標法
NYT vs. OpenAI ・ Microsoft	2023 年 12 月	数百万本の記 事の無断学 習、著作権侵 害	数十億ドル	米国著作権法
Getty Images vs. Stability AI	2023 年 1 月	画像の無断学 習、著作権侵 害、商標侵害	非公開	米国著作権 法、商標法

第 4 章: AI 検索が変える情報流通とジャーナリズムの未来

4.1. 「ゼロクリック問題」の構造的分析：AI がもたらすトラフィックと収益への影響

Perplexity のビジネスモデルは、従来の検索エンジンとは一線を画す「アンサーエンジン」である²⁷。Google がリンク一覧を提示し、ユーザーにクリックを促すのに対し、Perplexity はウェブ上の情報をリアルタイムで検索し、要約された回答を直接提供する²⁷。

このモデルは、ユーザーが元の記事サイトを訪問する必要性を減らすという構造的な脅威をメディア業界にもたらす。これが「**ゼロクリック問題**」である。AI が直接回答を生成することで、ウェブサイトへのトラフィックが減少し、広告収入やサブスクリプション収入といった報

道機関の主要なビジネスモデルが根底から揺らぎかねない⁸。これは、AI 検索が従来の「検索連動型広告」モデルを根本から破壊する可能性を示唆している。

4.2. 「ハルシネーション」と信頼性の毀損：新聞社のブランドに対する脅威

AI が生成する誤情報、いわゆる「ハルシネーション」は、単なる技術的なバグではなく、ジャーナリズムの基盤である「信頼」そのものを揺るがす構造的な脅威である。Perplexity のサービスは、誤った情報を生成し、それを信頼できる情報源（新聞社など）に誤って帰属させた事例が複数報告されている³。

ジャーナリズムのビジネスモデルは、正確で信頼性の高い情報を提供することで成り立っている⁶。虚偽の情報が、多大な時間と労力を費やして取材・作成された記事の内容として表示されることは、新聞社の信用という最も重要な資産を直接的に毀損する³。この問題は、著作権侵害とは別の観点から不正競争防止法に基づき、AI 企業に責任を追及する重要な法的根拠となっている¹。これは、AI が情報の「事実」を伝えるだけでなく、その「真偽」を問うという、より深い社会的課題を浮き彫りにする。

4.3. 競争環境の再定義：Google、OpenAI、Perplexity の検索ビジネスモデル比較

検索の覇権争いは、単なるアルゴリズムの優劣から、信頼性の高い情報源をどれだけ確保できるか、そしてその対価をどう支払うかという、ビジネスモデルとパートナーシップの争いへと移行している。

Google は、従来のリンクベースの検索エンジンで支配的な地位を築いているが、AI による要約回答（SGE など）を導入し、Perplexity 同様の「ゼロクリック問題」に直面している³⁷。

OpenAI は、多くのメディアとライセンス契約を締結することで、信頼性の高いコンテンツを確保する戦略を取っている²⁵。

Perplexity は、アンサーエンジンとしてリアルタイムの情報検索と要約に特化し、出版社との新しい収益分配モデル「Comet Plus」で差別化を図っている²⁷。このモデルは、既存のパートナーシップとは異なる新しいアプローチである⁵⁶。

企業名	ビジネスモデル	コンテンツへの対価	支払い方法	法的背景（訴訟・合意）
Perplexity	アンサーエンジン、AI ブラウザ「Comet」	収益分配、当初は資金プールから支払い	ユーザーの利用状況（3 カテゴリー）に応じた分配	読売、日経・朝日、News Corp などから提訴。Comet Plus で対抗。
OpenAI	会話型 AI（ChatGPT）、AI エージェント	ライセンス料、技術・アクセス提供	メディア企業との個別の多額の契約（例: News Corp、Axel Springer）	NYT から提訴。多くのメディアと提携。
Google	リンクベース検索、AI 要約（SGE）	ライセンス料、広告収益分配	News Showcase プログラムなどを通じた契約支払い	各国政府や出版社との対立・和解の歴史。

4.4. 報道コンテンツの新たな価値：学習データ、エージェント利用、そして信頼性の対価

AI 時代の到来により、報道コンテンツの価値は再定義されつつある。コンテンツは、AI モデルの精度と有用性を高めるために不可欠な「教師データ」であり、その価値は改めて認識されている。

さらに、AI エージェントがユーザーに代わってタスクを完了する時代において、コンテンツは単なる情報源ではなく、「行動のインプット」としての価値を持つようになる²⁰。

また、AI のハルシネーションという弱点を補完する上で、正確で信頼性の高いジャーナリズム

は極めて重要な要素となる。つまり、「信頼性」そのものがビジネス上の対価となる時代が到来している。Comet Plus のモデルは、この新しい価値観を収益分配に組み込もうとする試みである。

第 5 章: 結論と戦略的提言

5.1. 考察のまとめ : AI とメディアの対立は避けられないか？

AI とメディアの間の衝突は、技術革新と知的財産権という二つの重要な要素が交錯する必然的な構造的問題であり、完全に避けることは困難である。今回の **Perplexity** を巡る訴訟は、コンテンツが持つ知的財産としての価値と、その公正な対価をどのように定義・分配するかという、デジタル社会の根本的な課題を浮き彫りにした。**Perplexity** が発表した **Comet Plus** は、この対立を和解へと導く可能性を秘めた、一つの重要な実験的モデルである。

5.2. メディア企業への提言

- **知的財産戦略の強化:** 著作権侵害を監視する体制を強化し、必要に応じて法的手段を講じる。ウェブクローラーを拒否する技術的措置 (**robots.txt**) を明確に実施し、その遵守を AI 企業に強く求める¹¹。
- **収益モデルの多角化:** 広告やサブスクリプション収入への依存度を減らし、AI 企業とのライセンス契約や、AI によるコンテンツ利用からの収益分配を新たな収益の柱として位置づける。
- **ブランドの信頼性強化:** AI ハルシネーションから自社のブランドを守るため、ファクトチェックのプロセスを強化し、正確性というジャーナリズムの核となる価値を再確認する。ユーザーとの直接的な関係を深め、信頼を基盤としたコミュニティを構築することが、AI 検索時代における生存戦略となる。

5.3. AI 企業への提言

- **公正なエコシステムの構築:** コンテンツパートナーを競争相手ではなく、共同事業者として捉える。Comet Plus のような、収益とトラフィックを公正かつ透明性の高い方法で分配するビジネスモデルをさらに発展させるべきである。
- **法的リスクの管理:** 「フェアユース」の主張だけに頼るのではなく、報道機関との早期のライセンス契約交渉を積極的に進める。これにより、高額な訴訟費用やブランドイメージの低下リスクを回避できる。
- **技術的対策の強化:** 誤情報（ハルシネーション）を削減する技術開発に最優先で注力する。また、誤った引用や情報が表示された場合に、迅速に修正し、その経緯を透明化するプロセスを確立することが信頼性向上に不可欠である。

5.4. 投資家および政策立案者への提言

- **投資家:** AI 企業への投資判断において、そのビジネスモデルが知的財産権の尊重をどの程度組み込んでいるかを重要な評価軸とすべきである。コンテンツ所有者との持続可能な関係構築に投資する企業こそが、長期的な成功を収める可能性が高いと評価すべきである。
- **政策立案者:** AI とメディアの新しい関係に対応するための法制度の整備を急ぐ。日本の著作権法における「享受目的」や「軽微利用」といった概念の解釈を、技術の発展に合わせてより明確化し、実務レベルで適用可能な指針を提示することが求められる²。これにより、技術革新を阻害することなく、コンテンツ制作者の権利が適切に保護される健全な市場環境を育成することができる。

条文	条文の要点	法的解釈のポイント	今回の訴訟における争点
著作権法第 30 条の 4	情報解析を目的とする場合、著作権者の許諾なく著作物を利用可能。ただし、「享受を目的としない」場合に限る。	「享受目的」とは、著作物の視聴等を通じて知的・精神的欲求を満たすこと。AI 学習は原則非享受目的と解釈。	Perplexity のサービスは、学習という「非享受目的」と、要約を提供するというユーザーの「享受目的」を併有しており、この点が法的グレーゾーンとなる。
著作権法第 47 条の 5	所在検索サービスや情報解析・結果提供	「軽微な範囲」とは、元の著作物の代	Perplexity の AI 回答は、ユーザーの情

	サービスにおいて、 軽微な範囲で著作物 を利用可能。	替とならず、市場に 悪影響を及ぼさない 限度。robots.txt な どで拒否意思表示が あれば適用されな い。	報ニーズを充足さ せ、元の記事サイト への訪問を代替して しまうため、この条 文が定める「軽微利 用」の範囲を超えて いると主張されてい る。robots.txt の無 視もこの条文に関連 する。
--	----------------------------------	--	---

引用文献

1. 朝日と日経、AI 検索の Perplexity を提訴 44 億円請求 - Impress Watch, 8 月 29, 2025 にアクセス、<https://www.watch.impress.co.jp/docs/news/2041960.html>
2. 読売新聞 対 Perplexity 訴訟から考える生成 AI と著作権の今 ～権利保護と技術革新の狭間で, 8 月 29, 2025 にアクセス、<https://gaaaon.jp/blog/ai-copyright-perplexity-lawsuit-2025>
3. 朝日新聞社と日本経済新聞社、共同で米 Perplexity を提訴 - Media Innovation, 8 月 29, 2025 にアクセス、<https://media-innovation.jp/article/2025/08/26/142776.html>
4. 朝日・日経が Perplexity AI 相手に 44 億円損害賠償請求、記事無断利用で提訴 - Bignite, 8 月 29, 2025 にアクセス、https://oneword.co.jp/bignite/ai_news/asahi-nikkei-sue-perplexity-ai-copyright-infringement-4-4-bi/
5. グーグル、一貫したキャラ表現が可能な「Gemini 2.5 Flash Image」発表/Meta が Midjourney とパートナーシップを締結/NotebookLM、「動画解説」を日本でも開始/Pix | AI のある暮らし公式 note, 8 月 29, 2025 にアクセス、<https://note.com/ainoarukurashi/n/ne80b90f1965b>
6. 朝日新聞と日経新聞、米 AI 企業パープレキシティを提訴 無断利用で著作権侵害を主張, 8 月 29, 2025 にアクセス、<https://trt.global/nihongo/article/f4bd4e2db629>
7. Two major Japanese publishers have sued Perplexity AI, here's why, 8 月 29, 2025 にアクセス、<https://timesofindia.indiatimes.com/technology/tech-tips/two-major-japanese-publishers-have-sued-perplexity-ai-heres-why/articleshow/123548172.cms>
8. 読売新聞、AI 検索 Perplexity を提訴 「約 12 万本無断利用」で 21.7 億円賠償請求、東京地裁に訴え, 8 月 29, 2025 にアクセス、https://ledge.ai/articles/yomiuri_sues_perplexity_2025
9. Asahi, Nikkei sue AI search outfit Perplexity for copyright infringement - The

- Register, 8 月 29, 2025 にアクセス、
https://www.theregister.com/2025/08/26/perplexity_asahi_nikkei_lawsuits/
10. Perplexity's Clash with New Publishers Continues Despite Revenue-Sharing Efforts - Observer, 8 月 29, 2025 にアクセス、
<https://observer.com/2025/08/perplexity-heat-publishers-revenue-sharing-efforts/>
 11. AI 事業者は「学習禁止の意思を順守すべき」 新聞協会 - Impress Watch, 8 月 29, 2025 にアクセス、
<https://www.watch.impress.co.jp/docs/news/2020223.html>
 12. 生成 AI における報道コンテンツの保護に関する声明 - 日本新聞協会, 8 月 29, 2025 にアクセス、
https://www.pressnet.or.jp/statement/broadcasting/250604_15900.html
 13. 日経&朝日が AI 検索エンジンを提訴：22 億円請求の背景にある「著作権 vs AI」の深刻な対立 - note, 8 月 29, 2025 にアクセス、
<https://note.com/toumu0208/n/ncc0fae5cd007>
 14. 米生成 AI 事業者を提訴 朝日・日経、44 億円請求, 8 月 29, 2025 にアクセス、
<https://www.47news.jp/13066193.html>
 15. Murdoch vs. Machine: News Corp Takes on Bezos-Backed Perplexity AI in Landmark Copyright Battle | LawInc, 8 月 29, 2025 にアクセス、
<https://www.lawinc.com/news-corp-perplexity-ai-copyright-lawsuit>
 16. Can AI Search Engines Sustain 80% Publisher Revenue? - Tech in Asia, 8 月 29, 2025 にアクセス、
<https://www.techinasia.com/question/can-ai-search-engines-afford-80-publisher-revenue-shares-long-term>
 17. Perplexity AI Faces Copyright Lawsuit From Newspapers - SEO Bot, 8 月 29, 2025 にアクセス、
<https://seobotai.com/blog/perplexity-ai-faces-copyright-lawsuit-from-newspapers/>
 18. AI Content Monetization and Publisher Partnerships: How Perplexity's Revenue-Sharing Model Could Reshape the Future of Digital Media - AInvest, 8 月 29, 2025 にアクセス、
<https://www.ainvest.com/news/ai-content-monetization-publisher-partnerships-perplexity-revenue-sharing-model-reshape-future-digital-media-2508/>
 19. Perplexity has cooked up a new way to pay publishers for their content - Engadget, 8 月 29, 2025 にアクセス、
<https://www.engadget.com/ai/perplexity-has-cooked-up-a-new-way-to-pay-publishers-for-their-content-204255019.html>
 20. Perplexity launches \$5 monthly Comet Plus sharing 80% revenue with publishers - CO/AL, 8 月 29, 2025 にアクセス、
<https://getcoai.com/news/perplexity-launches-5-monthly-comet-plus-sharing-80-revenue-with-publishers/>
 21. AI 検索のパープレキシティ、コンテンツ発行元に収入分配へ | The Wall Street Journal 発, 8 月 29, 2025 にアクセス、
<https://diamond.jp/articles/-/371292>
 22. How Perplexity's new revenue model works - Digiday, 8 月 29, 2025 にアクセス、
<https://digiday.com/media/how-perplexity-new-revenue-model-works-according-to-its-head-of-publisher-partnerships/>

23. Perplexity Unveils \$42.5M Revenue-Sharing Model as Comet ..., 8 月 29, 2025 にアクセス、<https://www.subscriptioninsider.com/article-type/news/perplexity-unveils-42-5m-revenue-sharing-model-as-comet-browser-takes-aim-at-google>
24. Perplexity Launches Comet Plus, Shares Revenue With Publishers - Search Engine Journal, 8 月 29, 2025 にアクセス、<https://www.searchenginejournal.com/perplexity-launches-comet-plus-shares-revenue-with-publishers/554596/>
25. OpenAI's deal with News Corp: What it means - InnovationAus.com, 8 月 29, 2025 にアクセス、<https://www.innovationaus.com/openai-deal-with-news-corp-what-it-means/>
26. Sheppard Mullin AI Team Advised News Corp in Landmark, Multi-Year Global Partnership with OpenAI, 8 月 29, 2025 にアクセス、<https://www.sheppardmullin.com/pressrelease-1084>
27. What is Perplexity? | Perplexity Help Center, 8 月 29, 2025 にアクセス、<https://www.perplexity.ai/help-center/en/articles/10352155-what-is-perplexity>
28. 【悲報】読売新聞が AI 企業「Perplexity」を提訴！その背景と影響とは？ | meechang - note, 8 月 29, 2025 にアクセス、https://note.com/alps_meechang/n/na7069bf5eec2
29. 著作権法とは？ 基本を分かりやすく解説！ - 契約ウォッチ, 8 月 29, 2025 にアクセス、https://keiyaku-watch.jp/media/houre/chosakukenhou_kihon/
30. 著作権法第 47 条の 5 と新聞記事の利用について Q&A, 8 月 29, 2025 にアクセス、<https://www.pressnet.or.jp/statement/20211210.pdf>
31. 日本新聞協会、生成 AI による報道コンテンツの無断利用に関する声明発表 - 株式会社 ProFab, 8 月 29, 2025 にアクセス、<https://profab.co.jp/nihon-shinbun-kyokai-genai-statement/>
32. 米ニューヨーク・タイムズと Amazon が AI で提携 対立から対価を得る方向に - 民放 online, 8 月 29, 2025 にアクセス、<https://minpo.online/article/nytamazonai.html>
33. 生成 AI の著作権侵害の事例 8 選！企業のリスクと対策方法も解説, 8 月 29, 2025 にアクセス、<https://ai-keiei.shift-aico.jp/ai-copyright-violation/>
34. 生成 AI と著作権問題：事例や侵害リスク、ガイドラインを徹底解説, 8 月 29, 2025 にアクセス、<https://axia-company.co.jp/column/seisei-ai/>
35. OpenAI とジャーナリズム, 8 月 29, 2025 にアクセス、<https://openai.com/ja-JP/index/openai-and-journalism/>
36. WSJ 発行元のダウ・ジョーンズとニューヨーク・ポストが Perplexity AI を著作権侵害で提訴, 8 月 29, 2025 にアクセス、https://ledge.ai/articles/wsj_nyp_vs_perplexity_ai
37. AI startup Perplexity wants to upend search business. News outlet Forbes says it's ripping them off, 8 月 29, 2025 にアクセス、<https://apnews.com/article/perplexity-ai-search-engine-forbes-f307cb607f0db871b05f843a3f744340>
38. EU の新しい著作権指令について教えてください, 8 月 29, 2025 にアクセス、

- <https://eumag.jp/questions/f0819/>
39. 【EU】 デジタル単一市場における著作権指令, 8 月 29, 2025 にアクセス、
https://dlndl.go.jp/view/download/digidepo_11382322_po_02810204.pdf?contentNo=1
 40. Google News Showcase just landed in Italy: Google's answer to the EU Copyright Directive, 8 月 29, 2025 にアクセス、
<https://www.unlaw.it/en/publications/google-news-showcase-just-landed-in-italy-googles-answer-to-the-eu-copyright-directive/>
 41. What's Google News Showcase - Publisher Center Help, 8 月 29, 2025 にアクセス、
<https://support.google.com/news/publisher-center/answer/10018888?hl=en>
 42. ニュースコンテンツへの支払いを義務付ける行動規範、議会で可決(オーストラリア)| ビジネス短信, 8 月 29, 2025 にアクセス、
<https://www.jetro.go.jp/biznews/2021/02/40b9a962efd43dca.html>
 43. 豪州の「メディア取引法」が成立..グーグルやフェイスブックにニュースメディアへの支払いを義務付け | Business Insider Japan, 8 月 29, 2025 にアクセス、
<https://www.businessinsider.jp/article/230329/>
 44. EU、Google と FB にニュースコンテンツ使用料要求を検討 - アクション, 8 月 29, 2025 にアクセス、
<https://www.axion.zone/eu-needs-google-and-facebook-to-pay-for-news/>
 45. パテントサロン トピック 著作権, 記事使用料, リンク税 - Google News, Facebook, Microsoft -, 8 月 29, 2025 にアクセス、
https://www.patentsalon.com/topics/google_news/index.html
 46. フェイスブック、オーストラリアでニュースの閲覧・共有を禁止...「メディア交渉法」へ反発, 8 月 29, 2025 にアクセス、
<https://media-innovation.jp/article/2021/02/18/56777.html>
 47. フェイスブック、豪でニュース提供再開へ 政府と和解 - ダイヤモンド・オンライン, 8 月 29, 2025 にアクセス、
<https://diamond.jp/articles/-/263692>
 48. OpenAI and Axel Springer Form Global Partnership to Bring News Content to ChatGPT, 8 月 29, 2025 にアクセス、
<https://www.magnative.com/article/openai-and-axel-springer-form-global-partnership-to-bring-news-content-to-chatgpt/>
 49. OpenAI partners with major news publisher Axel Springer - Community, 8 月 29, 2025 にアクセス、
<https://community.openai.com/t/openai-partners-with-major-news-publisher-axel-springer/557375>
 50. AP strikes news-sharing and tech deal with OpenAI | Nieman Journalism Lab, 8 月 29, 2025 にアクセス、
<https://www.niemanlab.org/reading/ap-strikes-news-sharing-and-tech-deal-with-openai/>
 51. Associated Press and Open AI: the first news-sharing and technology partnership, 8 月 29, 2025 にアクセス、
<https://www.penningtonslaw.com/news-publications/latest-news/2023/associated-press-and-open-ai-the-first-news-sharing-and-technology-partnership>

52. 2024 in review: A timeline of the major deals between publishers and AI companies, 8 月 29, 2025 にアクセス、<https://digiday.com/media/2024-in-review-a-timeline-of-the-major-deals-between-publishers-and-ai-companies/>
53. Partnering with Axios expands OpenAI's work with the news industry, 8 月 29, 2025 にアクセス、<https://openai.com/index/partnering-with-axios-expands-openai-work-with-the-news-industry/>
54. What Is Perplexity AI and How It Works - M1-Project, 8 月 29, 2025 にアクセス、<https://www.m1-project.com/blog/what-is-perplexity-ai-and-how-it-works>
55. AI Search Has A Citation Problem - Columbia Journalism Review, 8 月 29, 2025 にアクセス、https://www.cjr.org/tow_center/we-compared-eight-ai-search-engines-theyre-all-bad-at-citing-news.php
56. Perplexity Will Share Revenue From AI Searches With Publishers - CNET, 8 月 29, 2025 にアクセス、<https://www.cnet.com/tech/services-and-software/perplexity-will-share-revenue-from-ai-searches-with-publishers/>
57. OpenAI ChatGPT Agent vs. Perplexity Comet: How Do They Compare? – Bind AI IDE, 8 月 29, 2025 にアクセス、<https://blog.getbind.co/2025/07/23/openai-chatgpt-agent-vs-perplexity-comet-how-do-they-compare/>
58. 「AI 時代の知的財産権検討会 中間とりまとめ」の公表について - 弁護士法人イノベンティア, 8 月 29, 2025 にアクセス、<https://innoventier.com/archives/2024/09/17301>